

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社ヤマトインテック					
代表者名	氏名	遠藤裕司	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	塩尻市広丘野村1048					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	2251 銑鉄鋳物製造業				
主たる事業の概要	自動車・建設機械等用の銑鉄・ダクタイル鋳物の製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	6715	6450			
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	13903	13345			
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0				
自動車の台数	台	8				
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	20				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成	28	年度
------	----	----	----

計画期間	平成	29	年度～	平成	31	年度
------	----	----	-----	----	----	----

報告対象年度	平成		年度
--------	----	--	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

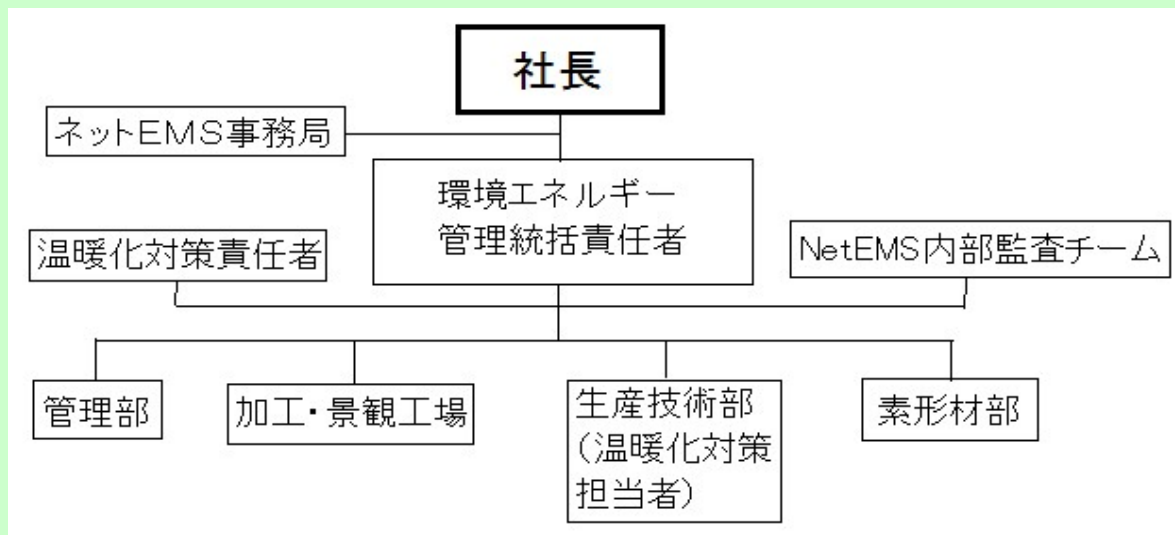
<input type="checkbox"/>	ホームページ	会社案内パンフレット 本部棟1Fロビー 8:15～17:00 窓口：管理部0263-52-0626
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

- ・生産性向上による効率の良いエネルギーの利用。
- ・不良率低減による無駄となるエネルギーの抑制。
- ・歩留まり向上による電力の有効利用
- ・不要等の消灯、エアリーク箇所へのロス防止。
- ・エアリーク配管ルートの見直しによる圧力損失防止。
- ・天井水銀灯、蛍光灯等のLED化。
- ・各種モータのインバータ化による省エネ対策。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

ISO14001運用担当者会議 1回/隔月

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	13,903	t-CO ₂	売上高	4,601.00	単位	百万円	
28年度	調整後排出量	13,801	t-CO ₂	基準原単位	3.02	t-CO ₂ /	百万円	
目標年度	目標排出量	13,345	t-CO ₂	目標原単位	2.90	t-CO ₂ /	百万円	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	4.01	%	目標削減率	3.97	%		
目標設定に関する説明	<p>売上高当りのCO₂排出量の原単位とした。 その中で、今後三ヵ年の売上予測が5%前後増加する想定があり 原単位での削減率で見れば4.01%を目標とした。</p>							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	売上高		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	売上高		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	売上高		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
31年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂		単位	
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位	t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率	%	
目標設定に関する説明						※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂		単位	
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率	%	
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂		単位	
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率	%	
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂		単位	
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率	%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	20	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	360799 コンプレッサ供給配管ルート変更	29	14.03		
2	エネ起	その他 中子砂性状変更による仕上げ工 程電力原単位削減	29	80		
3	エネ起	370703 戻り材粉碎化による電力原単位削減	30	140.25		
4	自動車	20KM圏内利用の自動車更新 2000ccから軽自動車	29	30		
5	エネ起	380752 高効率天井照明への更新	29	7		
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
計画無し						

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	102				
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	13,903						
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	13,903						

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0			
CH ₄	0			
N ₂ O	0			
HFC	0			
PFC	0			
SF ₆	0			
NF ₃	0			
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0			
電気自動車	0			
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼル自動車	0			
その他 (ハイブリッド等)	0			
合計	0	0	0	0
自動車総数	8			
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特に他社（協力会社含む）に対し実施はしていない。
その他	

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率75%。特にマイカー規制は実施していない。交通機関があまり良くない点と変則勤務が主体で公共交通は利用しづらい。
公共交通機関の利用促進	上記理由で特に啓蒙はしていない。
来客者の交通対策	来客者により社有車を利用して送迎する場合あり。
物流の合理化	運送業者トラックコンテナへの積載重量を80%以上を目標に設定。昨年度は目標達成。

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	'04/03
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	なし
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	LPG10トンタンクを0.98トン2基に更新。	
その他	75kwコンプレッサ6台の台数制御を行っていく中で稼働日と休日では供給元圧を変更し休日の省エネを行っているがさらに稼働日でも午前3時30分から4時45分までは休日扱いが可能なので設定変更して更なる省エネに取組んだ。	8